



梨花

題字／故西尾邑次
元名誉会員揮毫

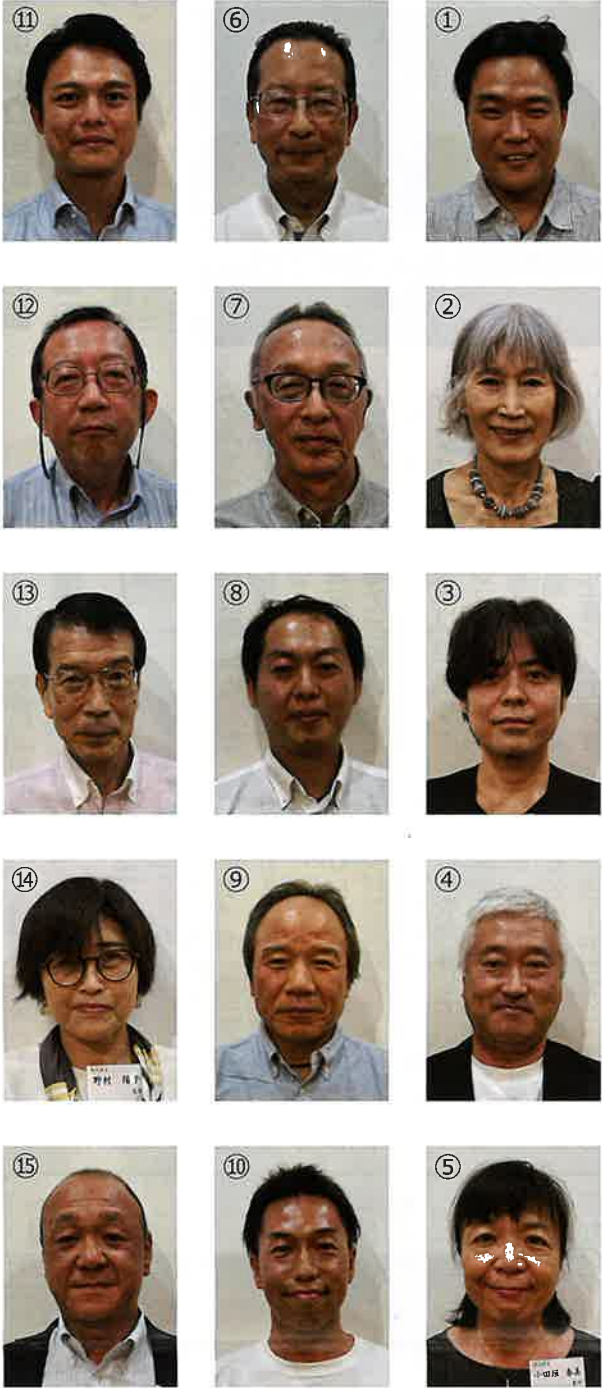
第 78 号

2025 年 10 月 30 日発行
東京鳥取県人会事務局
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館10F
電話 03(5212)9178
FAX 03(5212)9079
発行責任者／勝部日出男
編集／県人会広報部会
<https://www.pref.tottori.lg.jp/tokyokenjin/>

東京鳥取県人会の新入会員歓迎会開く

多彩な顔ぶれの新入会員 16 人参加

東京鳥取県人会の新入会員歓迎会が9月1日、東京・新橋のとつりおかやま新橋館の「ももてなし家」で開かれ、新入会員16名、県人会役員ら24名の計40名が参加しました。勝部日出男会長が歓迎の挨拶をし、長尾克己副会長による乾杯の後、交流部会、広報部会、総務部会から報告があり、歌舞伎鑑賞会、演劇鑑賞会など特色ある多様な取り組みが紹介されました。そして新入会員はユーモアを交えながら自己紹介しました。東京鳥取県人会には、昨年9月から今年8月までの1年間に60名が入会。歌舞伎俳優、演出家、金融関係者、内閣府への出向者など多彩な方々です。新規加入者の自己紹介を掲載します。(順不同、敬称略)



①永見 匠 2022年から浅草で日本料理店「浅草永見」を営んでおります。よろしくお願ひします。

②笠井ひろ子 米子市で生まれ育ち、結婚してから東京に住んでいます。私は看護師として、米子では病院、東京では中断しながらも二つの企業で国内外に住み、異文化を体験出来た事は貴重な経験になりました。東京生活の方が長くなりましたが、私も娘も健康な生活を送りたいです。

③永見 匠 2022年から浅草で日本料理店「浅草永見」を営んでおります。よろしくお願ひします。

④山岡暢広 知人の仲介で長尾様をご紹介いただき入会させていただきました。現在はDXコンサルタンとして起業しておりますが、その延長線上でAIスタートアップと協業しながら、世の中に生成AIを導入していく活動を行っております。趣味は、ウインドサーフィとゴルフです。

⑤小田垣春美 入会のきっかけは石井健蔵さんです。私の夫と石井さんが銀行の同期で、私は同じ銀行の1つ下の年次でした。石井さんは早稲に転職されたのですが、夫とfacebookでつながっていて、大相撲観戦にお声かけ頂いたことがきっかけで入会しました。趣味はゴルフで久松会からもご案内頂いていますが、日程が合わずまだ参加できていません。いつかきつと参加させて頂きたいと思っています。

⑥水上孝浩 勝部会長様からお話を伺い、参加をお願いしました。機関紙・書籍の編集に40年携わり、今夏の継続雇用終了(65歳)とともに同紙愛読者センター(電話応対)にアルバイトとして勤めています。在職中は23力国・地域の取材等にも行かせていただきました。現在は町内会活動に少しづつ参加。地域防災に関心があります。

⑦谷川 克 今回、倉吉東高同級生である副会長の市川さんから入会を勧められてこの歳での入会となりました。現在は、自動機器用の金属加工部品をベトナム・中国から輸入し販売する仕事を自営でやると共にシルバー人材センターから紹介を受けた会社にて週2〜3回通っています。趣味は水泳で、年に6〜7回マスタース水泳のレースに出場しています。

⑧定常考 令和6年度から琴浦町に籍をおいたまま、内閣府に出向で東京へやってきました。国家戦略特区という制度の担当をしております。地方創生の分野ではあるのですが、如何せん鳥取県において特区制度は馴染みが薄いので、なんとか布教したいなと思っています。よろしくお願ひします。

⑨藤森洋一 八頭高の同級生からの紹介で入会しました。大卒後、商社とメーカーで38年間中国ビジネスに従事。2023年62歳でリタイヤし、同年自転車日本一周。24年春から翌年春まで、夏季半年間北海道で、冬季半年間半は沖永良部で農業修業。現在は家庭菜園のできる近郊農村への移住を検討中。

⑩大東直人 すなば会をきっかけに入会させて頂きました。経歴としては、車尾小、東山中、米子東高出身、部活は野球をやっておりました。横浜国立大学経営学部出身です。現在は、銀座一丁目「水素サロンのROCKY銀座」を経営しております。趣味はスポーツで、野球、バレーボール、たまにサーフィンなどをやっております。今後、諸先輩方のように地元貢献していきたいと思っております。

⑪水谷瞭平 知り合いに誘ってもらった、すなば会のメンバーからご紹介して頂き入会しました。金融機関でお客様資産管理、運用の業務を行っております。また子供たち向けのお金の授業を全国展開しております。暇な時間は運動をしたり、ゴルフを上手くなれるよう練習しています。野球場が近いので野球観戦にもよく行きます。

⑫荒木政徳 附属小学校、附属中学校、鳥取西高出身です。大学(横浜国立大)から関東に came しました。県人会には、中学校、高校の同級生が声をかけてくれました。現在、浦安に住んでいて、製薬会社に勤めています。趣味は釣り、釣りがメインです。他に車を運転するのが好きです。何か鳥取に役に立つことができないうか探しています。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

⑬中永章治 前田康寛 歌舞伎俳優という仕事は(特に弟子は)なかなか自由な時間をとれません、なので皆様の集まりに顔を出す事も難しくためらっていましたが、名題昇進を機に入会しようと思ひました。未熟な私ですが、歌舞伎に興味をもってもらえたらいいなと思います。

⑭野村陽子 江畑由美 はじめまして。家族の転勤により、関東在住は東京9年、神奈川16年目となりました。鳥取県も関東も大好きなので、今後両地域の行き来を楽しみたいと考えております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。東京鳥取県人会の事は、鳥取県庁に勤めていた母から聞いていました。

⑮岡野弘子 毎年集まる東京近郊在住の同窓会で市川祐一郎さんの勧めで入会いたしました。高校卒業して以来東京に住み、もう両親もなくなり弟もあきる野市にいたので、関金や倉吉とも縁が薄くなったなと感じているところでしたので、これを機にもう一度自分の生まれたところを見直してみようかと思ひます。



令和6年 全国新酒鑑評会 金賞受賞
千代むすび酒造(株)
代表取締役 岡空 晴夫
〒684-0004 鳥取県境港市大正町131
TEL 0859-42-3191 FAX 0859-42-3515



株式会社 不二家
代表取締役会長 山田 憲典
〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6
TEL: 03-5978-8100



株式会社 千代丸
取締役会長 大田 英二
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-7
ITOビル6F
TEL 03-5640-8122
FAX 03-5640-8100



鳥取銀行
東京事務所
所長 門脇 崇
〒101-0048 東京都千代田区神田2-2-12
神田司ビル5階
TEL 03-5295-8111 FAX 03-5295-8117
<http://www.tottoribank.co.jp/>

鳥取県立美術館が開館

半年で入場者の年間目標20万人達成

鳥取県立美術館パートナーズ

運営担当サブマネージャー 石山 彩



ウォールホルの『プリロ・ボックス』が初のお披露目となりました。また終了後もコレクシヨンギャラリーで様々な文脈で展示し、展示替え期間を除き年間を通じてご覧いただけます。ミュージアムショップでは美術館オリジナルの『プリロ・ボックス』キャンディ缶、地元の製菓会社が開発された『プリロの箱 黄金のポルポローネ』が土産として好評で、これまでに合わせて2万個以上を販売しています。

2025年3月30日、鳥取県立美術館が開館しました。美術館のブランディングワードは「OPENNESS(オープンネス)」。回遊性のある開放的な建築のデザインにも現れています。誰に対しても開かれた公共の空間として、多様な価値観を尊重しあいながら美術を享受する新たな賑わいの場となることを目指しています。

開館から半年を目前にした9月12日(金)、初年度の年間目標であった利用者20万人に早くも到達し、記念セレモニーを開催しました。20万人のなかには地元の皆様はもちろん、県外からの美術・建築ファンの方、県人会や同窓会の皆様をはじめ帰省がてら立ち寄れる方、開館準備期間中に建設現場見学会やカウンタダウンイベント、地域へのイベント出演などでお会いした方々が再訪しお声掛けいただくこともしばしばありました。

開館記念展「アート・オブ・ザ・リアル 時代を超える美術―若冲からウォール・リヒターへ―」では、収集の際に話題となったアンディ・

あぶらすの皆さんが活躍しています。ボランティアには300人ほどの方が登録しており、小学生の招待事業MUSEUM START BUSでの対話鑑賞のファシリテーターや資料整理など、美術館の活動に力を発揮しています。

美術館の主催イベントのほかにも、目の前の大御堂廃寺跡歴史公園を舞台にしたおまつりやフードフェス開催での連携、美術館の敷地や県民ギャラリー、スタジオなどの諸室を活用した県民の皆さんによる展示やイベント、美術館の空間を生かしたユニークな企画も始まっています。若冲の成熟期の墨画の傑作「花鳥図(押絵屏風)」を収集後初めて公開します(2025年10月11日～11月24日)。レセプション、ウェディング、演劇、ミニコンサートなど、今後も皆さんの新しいアイデアで賑わい、交流の輪が広がっていくことを期待しています。

鳥取県立美術館のURL:

<https://tottori-moa.jp/>

〒682-0816 鳥取県倉吉市

駄経寺町2-3-12

開館時間: 9:00～17:00

休館日: 月曜日、年末年始

(12月29日～翌年1月3日)ほか

今後の企画展

○2025年10月11日(土)

～11月24日(月祝)

※展示替えあり

「花鳥図 ―日本美術とい

きものたち―」

○2026年2月7日(土)

～3月22日(日)

「CONNECTIONS ―

コネクションズ ― 接続する

アーティストたち―」

《地方創生ばなし》

地域に支えられ開業95周年を迎える若桜線
観光列車走り、レトロな駅舎

若桜鉄道株式会社代表取締役専務 矢部雅彦

若桜鉄道の変遷

1930年(昭和5年)に全線開通した若桜線は、沿線地域の皆様や全国の鉄道ファンに支えられて歩んできました。その若桜線も今年12月に全線開通から95周年を迎えます。

1987年(昭和62年)に第

三セクター若桜鉄道株式会社に引き継がれ、以来地域住民の重要な交通手段としての役割を担ってきました。急激な人口減少等時代の変化に対応しながら、運行を続けて来ましたが赤字解消には至らず、平成21年4月から八頭町・若桜町が鉄道用地や線路・駅舎などの施設を保有し、若桜鉄道(株)が運行を担う、全国初の公有民営による上下分離方式での運行となりました。

平成28年4月からは、車両も両町が保有する体制となり、経営

若桜鉄道の特色

生き残りをかけた挑戦事業① 観光列車が走る

平成30年3月に観光列車「昭和号」がスタートし、「八頭号」が平成31年3月に、「若桜号」が令和2年3月にデビュー。

観光列車は、著名な工業デザイナーの水戸岡鋭治氏によるもので、この観光列車の車内も木材がふんだんに使用され、レトロ調のぬくもりのある空間となっています。

生き残りをかけた挑戦事業② 駅舎再生プロジェクト

既存の駅舎の良さを再発見することにより、街の玄関、観光の拠点として、駅舎が持つ本来の役割を再認識しようと、水戸岡鋭治氏のトータルデザインにより、平成20年に国の登録有形文化財に登録されている6駅(若桜駅・丹比駅・八東駅・安部駅・隼駅・因幡船岡駅)を昭和5年の建築当時に近い姿に再生させ、観光列車第一弾の「昭和号」運行の演出に磨きをかける取り組みを実施しました。

特に若桜駅は、カフェを備えたレトロな待合室となっています。

地域の力

おもてなしイベント

沿線住民の踏ん張りや各駅に守る会などの組織ができ、それぞれの駅毎におもてなしイベントなど一生懸命取り組んでいただいています。

こういった活動により、若桜鉄道の利用が増えていることも事実です。本当に感謝しています。

本当に地域の力はすごいなあと感じていますし、とても感謝しています。

既存の駅舎の良さを再発見することにより、街の玄関、観光の拠点として、駅舎が持つ本来の役割を再認識しようと、水戸岡鋭治氏のトータルデザインにより、平成20年に国の登録有形文化財に登録されている6駅(若桜駅・丹比駅・八東駅・安部駅・隼駅・因幡船岡駅)を昭和5年の建築当時に近い姿に再生させ、観光列車第一弾の「昭和号」運行の演出に磨きをかける取り組みを実施しました。

特に若桜駅は、カフェを備えたレトロな待合室となっています。

地域の力

おもてなしイベント

沿線住民の踏ん張りや各駅に守る会などの組織ができ、それぞれの駅毎におもてなしイベントなど一生懸命取り組んでいただいています。

こういった活動により、若桜鉄道の利用が増えていることも事実です。本当に感謝しています。

本当に地域の力はすごいなあと感じていますし、とても感謝しています。

既存の駅舎の良さを再発見することにより、街の玄関、観光の拠点として、駅舎が持つ本来の役割を再認識しようと、水戸岡鋭治氏のトータルデザインにより、平成20年に国の登録有形文化財に登録されている6駅(若桜駅・丹比駅・八東駅・安部駅・隼駅・因幡船岡駅)を昭和5年の建築当時に近い姿に再生させ、観光列車第一弾の「昭和号」運行の演出に磨きをかける取り組みを実施しました。

特に若桜駅は、カフェを備えたレトロな待合室となっています。

地域の力

おもてなしイベント

沿線住民の踏ん張りや各駅に守る会などの組織ができ、それぞれの駅毎におもてなしイベントなど一生懸命取り組んでいただいています。

こういった活動により、若桜鉄道の利用が増えていることも事実です。本当に感謝しています。

本当に地域の力はすごいなあと感じていますし、とても感謝しています。

既存の駅舎の良さを再発見することにより、街の玄関、観光の拠点として、駅舎が持つ本来の役割を再認識しようと、水戸岡鋭治氏のトータルデザインにより、平成20年に国の登録有形文化財に登録されている6駅(若桜駅・丹比駅・八東駅・安部駅・隼駅・因幡船岡駅)を昭和5年の建築当時に近い姿に再生させ、観光列車第一弾の「昭和号」運行の演出に磨きをかける取り組みを実施しました。

特に若桜駅は、カフェを備えたレトロな待合室となっています。

地域の力

おもてなしイベント

沿線住民の踏ん張りや各駅に守る会などの組織ができ、それぞれの駅毎におもてなしイベントなど一生懸命取り組んでいただいています。

こういった活動により、若桜鉄道の利用が増えていることも事実です。本当に感謝しています。

本当に地域の力はすごいなあと感じていますし、とても感謝しています。

既存の駅舎の良さを再発見することにより、街の玄関、観光の拠点として、駅舎が持つ本来の役割を再認識しようと、水戸岡鋭治氏のトータルデザインにより、平成20年に国の登録有形文化財に登録されている6駅(若桜駅・丹比駅・八東駅・安部駅・隼駅・因幡船岡駅)を昭和5年の建築当時に近い姿に再生させ、観光列車第一弾の「昭和号」運行の演出に磨きをかける取り組みを実施しました。

特に若桜駅は、カフェを備えたレトロな待合室となっています。

人口減少社会の到来により益々乗車人員の減が見込まれることなどから、若桜鉄道は独自の収益増としてSLやDLの体験運転などに取り組んでいます。今後は、年々増加しているインバウンドの誘客やインバウンドを含めた体験運転会や写真撮影会を積極的に推進し、営業外収益の確保にも努め、開業100周年に向けさらなる持続可能な若桜鉄道へと作り上げていくよう社員一同頑張っています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後に向けて

人口減少社会の到来により益々乗車人員の減が見込まれることなどから、若桜鉄道は独自の収益増としてSLやDLの体験運転などに取り組んでいます。今後は、年々増加しているインバウンドの誘客やインバウンドを含めた体験運転会や写真撮影会を積極的に推進し、営業外収益の確保にも努め、開業100周年に向けさらなる持続可能な若桜鉄道へと作り上げていくよう社員一同頑張っています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人口減少社会の到来により益々乗車人員の減が見込まれることなどから、若桜鉄道は独自の収益増としてSLやDLの体験運転などに取り組んでいます。今後は、年々増加しているインバウンドの誘客やインバウンドを含めた体験運転会や写真撮影会を積極的に推進し、営業外収益の確保にも努め、開業100周年に向けさらなる持続可能な若桜鉄道へと作り上げていくよう社員一同頑張っています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人口減少社会の到来により益々乗車人員の減が見込まれることなどから、若桜鉄道は独自の収益増としてSLやDLの体験運転などに取り組んでいます。今後は、年々増加しているインバウンドの誘客やインバウンドを含めた体験運転会や写真撮影会を積極的に推進し、営業外収益の確保にも努め、開業100周年に向けさらなる持続可能な若桜鉄道へと作り上げていくよう社員一同頑張っています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人口減少社会の到来により益々乗車人員の減が見込まれることなどから、若桜鉄道は独自の収益増としてSLやDLの体験運転などに取り組んでいます。今後は、年々増加しているインバウンドの誘客やインバウンドを含めた体験運転会や写真撮影会を積極的に推進し、営業外収益の確保にも努め、開業100周年に向けさらなる持続可能な若桜鉄道へと作り上げていくよう社員一同頑張っています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人口減少社会の到来により益々乗車人員の減が見込まれることなどから、若桜鉄道は独自の収益増としてSLやDLの体験運転などに取り組んでいます。今後は、年々増加しているインバウンドの誘客やインバウンドを含めた体験運転会や写真撮影会を積極的に推進し、営業外収益の確保にも努め、開業100周年に向けさらなる持続可能な若桜鉄道へと作り上げていくよう社員一同頑張っています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人口減少社会の到来により益々乗車人員の減が見込まれることなどから、若桜鉄道は独自の収益増としてSLやDLの体験運転などに取り組んでいます。今後は、年々増加しているインバウンドの誘客やインバウンドを含めた体験運転会や写真撮影会を積極的に推進し、営業外収益の確保にも努め、開業100周年に向けさらなる持続可能な若桜鉄道へと作り上げていくよう社員一同頑張っています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人口減少社会の到来により益々乗車人員の減が見込まれることなどから、若桜鉄道は独自の収益増としてSLやDLの体験運転などに取り組んでいます。今後は、年々増加しているインバウンドの誘客やインバウンドを含めた体験運転会や写真撮影会を積極的に推進し、営業外収益の確保にも努め、開業100周年に向けさらなる持続可能な若桜鉄道へと作り上げていくよう社員一同頑張っています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人口減少社会の到来により益々乗車人員の減が見込まれることなどから、若桜鉄道は独自の収益増としてSLやDLの体験運転などに取り組んでいます。今後は、年々増加しているインバウンドの誘客やインバウンドを含めた体験運転会や写真撮影会を積極的に推進し、営業外収益の確保にも努め、開業100周年に向けさらなる持続可能な若桜鉄道へと作り上げていくよう社員一同頑張っています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人口減少社会の到来により益々乗車人員の減が見込まれることなどから、若桜鉄道は独自の収益増としてSLやDLの体験運転などに取り組んでいます。今後は、年々増加しているインバウンドの誘客やインバウンドを含めた体験運転会や写真撮影会を積極的に推進し、営業外収益の確保にも努め、開業100周年に向けさらなる持続可能な若桜鉄道へと作り上げていくよう社員一同頑張っています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人口減少社会の到来により益々乗車人員の減が見込まれることなどから、若桜鉄道は独自の収益増としてSLやDLの体験運転などに取り組んでいます。今後は、年々増加しているインバウンドの誘客やインバウンドを含めた体験運転会や写真撮影会を積極的に推進し、営業外収益の確保にも努め、開業100周年に向けさらなる持続可能な若桜鉄道へと作り上げていくよう社員一同頑張っています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人口減少社会の到来により益々乗車人員の減が見込まれることなどから、若桜鉄道は独自の収益増としてSLやDLの体験運転などに取り組んでいます。今後は、年々増加しているインバウンドの誘客やインバウンドを含めた体験運転会や写真撮影会を積極的に推進し、営業外収益の確保にも努め、開業100周年に向けさらなる持続可能な若桜鉄道へと作り上げていくよう社員一同頑張っています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人口減少社会の到来により益々乗車人員の減が見込まれることなどから、若桜鉄道は独自の収益増としてSLやDLの体験運転などに取り組んでいます。今後は、年々増加しているインバウンドの誘客やインバウンドを含めた体験運転会や写真撮影会を積極的に推進し、営業外収益の確保にも努め、開業100周年に向けさらなる持続可能な若桜鉄道へと作り上げていくよう社員一同頑張っています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人口減少社会の到来により益々乗車人員の減が見込まれることなどから、若桜鉄道は独自の収益増としてSLやDLの体験運転などに取り組んでいます。今後は、年々増加しているインバウンドの誘客やインバウンドを含めた体験運転会や写真撮影会を積極的に推進し、営業外収益の確保にも努め、開業100周年に向けさらなる持続可能な若桜鉄道へと作り上げていくよう社員一同頑張っています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人口減少社会の到来により益々乗車人員の減が見込まれることなどから、若桜鉄道は独自の収益増としてSLやDLの体験運転などに取り組んでいます。今後は、年々増加しているインバウンドの誘客やインバウンドを含めた体験運転会や写真撮影会を積極的に推進し、営業外収益の確保にも努め、開業100周年に向けさらなる持続可能な若桜鉄道へと作り上げていくよう社員一同頑張っています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人口減少社会の到来により益々乗車人員の減が見込まれることなどから、若桜鉄道は独自の収益増としてSLやDLの体験運転などに取り組んでいます。今後は、年々増加しているインバウンドの誘客やインバウンドを含めた体験運転会や写真撮影会を積極的に推進し、営業外収益の確保にも努め、開業100周年に向けさらなる持続可能な若桜鉄道へと作り上げていくよう社員一同頑張っています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



観光列車「昭和号」

随想リレー

境港から世界中へ旅立つスポーツ用品

鳥取大学理事(非常勤) 熊笹御堂朋子



「1秒後、世界が変わる」をテーマに9日間にわたって開催された世界陸上が、9月21日、終わった。その日本選手団の鮮やかなオレンジ色の公式ユニフォーム、その右側に「a」のデザインされた文字を覚えて

の社名の由来を恥ずかしながら初めて知った。それは、ラテン語の格言「Anima Sana In Corpore Sano」(健全な身体に健全な精神あれかし)の頭文字。これは、今でも会社の大切な理念となっている。人生100年時代、ますます体を動かすこと・歩くこと・走ることの重要性が増している。一方で、生成AIも身近となり、人々はパソコンやスマホと過ごす時間が減っている。私自身、この夏は暑すぎて、ウォーキングもままならず、体を動かす機会が減った。そして、スマホを常に片手に持つと、反省しきりである。これから少しずつ涼しくなるので、アクティ

ブになろう!と誓ってみる。最後に嬉しいニュースを。最近ファッションブランドとして人気急上昇のアシックスブランドの一つ、オニヅカタイガー、その日本唯一の工場が境港にある。そこが2026年1月「オニヅカインベーションファクトリー」としてリニューアルオープンする。パリのシャゼリゼ通りやロンドンのリージェントストリートといった一等地にオニヅカの店は最近オープンした。ジャパンメイトと呼ばれる高品質のオニヅカタイガーが、鳥取県の境港市で生産され、世界中へと旅立っていく。鳥取から世界へ。嬉しい年明けになりそうだ。

【総務部会だより】

「鳥取県ゆかりの団体

との意見交換会」開く

令和 7 年東京鳥取県人会「鳥取県ゆかりの団体との意見交換会」が 7 月 28 日、東京・新橋のとつとり・おかやま新橋館で開催されました。22 団体 35 名の参加があり、多くの方から「開催を待ち望んでいた」との声をいただきました。

木さんや北野さんは次のように話します。

「全体の交流は年 2 回もてなし家で開催の懇親会のみで、鳥取にゆかりがある方であれば誰でも参加可能。会費は、若い世代は安く、年長者は高くしている。公式 LINE を活用した出欠の回答率はほぼ 100%。公式 LINE の QR コードを見せて登録してもらっている。首都圏で活動する若者の団体にも協力を図る取り組みの一環として、鳥取県内に所在する学校の同窓会、町人会に係る代表及び事務局の方々が意見交換などを行う場です。」

意見交換会は、首都圏での鳥取県ゆかりの方々の交流を一層促進するのが目的で、東京鳥取県人会も含め各団体の会員増を図る取り組みの一環として、鳥取県内に所在する学校の同窓会、町人会に係る代表及び事務局の方々が意見交換などを行う場です。

また、ある会員は「会員の減少や連絡先の把握方法など、悩みはほぼ一緒である。首都圏では鳥取県出身が少なくないので、初対面でも親しみを感ずる盛りがあがる。少人数であることは、裏を返せばつながりが強固になり、まとまる力となるので、その力を利用してできるのでは」と指摘。そして「若い年代だけの会合だと参加者が多い場合もあり、そういう機会を作ることが大事ではないか」と述べていました。次回開催については「毎年、または 2 年に 1 回」との要望が多くありました。

意見交換会は前半に、各団体の現状と課題について代表の方からの話しがあり、後半は「もてなし家」の食事と地元のお酒を楽しみながらさらに交流を深めました。多くの団体が会員増を課題とされる中、同一市内の在京同窓会が合同懇親会を開催され、出身中学が同じであることから交流が拡大し、さらに活性化が期待される事例の紹介がありました。また、若年層の入会促進には、SNS の活用、特に LINE での連絡が有効との意見が多く聞かれました。幅広い年齢層で構成される「すなば会」の佐々

ふるさとの夏祭り

貝がら節祭り

漁民の重労働を色濃く反映

貝がら節祭り実行委員会
実行委員長 高田 俊明

気高町は豊富な湧出量に恵まれた古くからの温泉地帯で、南に鷲峰山を仰ぎ、北には日本海を望む美しい海岸線が続いています。日本海の青海原と内陸の豊かな田園風景が出迎えてくれる自然豊かな土地で、山陰海岸ジオパークのエリア内に位置しています。

貝がら節は鳥取市気高町発祥の民謡で、日本海沿岸で働く漁民の労働歌です。その昔、気高町の海岸一帯に帆立貝が大量に発生することがあり、漁夫がジヨレン（馬銚用の漁具）に網を付けた舟で底曳き漁をしていました。

この底曳き漁は大変な重労働で、貝がら節はその辛さを和らげるために櫓に合わせ歌った労働歌です。漁民の魂をゆすぶって愛誦され伝承されただけに、この唄には海の豪快さとともに哀愁を帯びたメロディがあり、彼らの生活が唄に色濃く反映されています。

今年の貝がら節祭りは 8 月 2 日に開催されました。多くの皆様に来場いただき、大

盛況のうちに終えました。恒例の「貝がら節総踊り」では総勢 472 人の踊り子が一斉に街を練り踊り、歌と踊りにあふれる大きな輪が広がりました。

この踊りは初めてでも踊りやすいようにアレンジされており、ゲストとして招いた民謡クルセイダースの方々も飛び入り参加し、踊りを楽しんでいました。和太鼓の響きと掛け声が夜空に響き渡り、まさに地域全体が一つになる瞬間でした。

また、従来から伝わる正調踊りも披露され、町内が貝がら節一色となり大いに盛り上がる一日となりました。

盛況のうちに終わりました。恒例の「貝がら節総踊り」では総勢 472 人の踊り子が一斉に街を練り踊り、歌と踊りにあふれる大きな輪が広がりました。

倉吉打吹まつり

県立美術館と「ラボ

倉吉打吹まつり実行委員会事務局

倉吉打吹まつりは、毎年 8 月上旬に 2 日間に行われる開催している夏まつりで、今年で 47 回目を迎え、倉吉を盛り上げる夏の風物詩として世代を問わず多くの市民に親しまれています。

今年のまつりは、3 月にオープンした鳥取県立美術館とコラボレーションし、美術館の「ゴマーク」をデザインした、オリジナルグッズの販売をはじめ、1 日目の主会場を旧市街地の倉吉銀座通りから、鳥取県立美術館前広場に移して開催しました。

まつり 1 日目（8 月 2 日）は、倉吉の魅力発信する PRR 大使「打吹天女」の発表、餅まき、倉吉打吹太鼓、金管バンド等の演奏、キッズダンスなどが華やかに披露され、会場は大きな歓声に包まれました。また、倉吉銀座通りから主会場に向けて、女みこし、牛鬼、打吹童子ばやしお祭り隊によるパレードを行いました。日没になると、浴衣姿の踊り子が会場を踊りながら練り歩く「倉吉みつぼし踊り大会」が行われ、美術館のライトアップと伝統のみつぼし踊りが幻想的に交差する

ゆりはま夏祭り・水郷祭
「美しい村百選」の景観に花火

湯梨浜町長 宮脇正道

湯梨浜町の夏の風物詩は何といっても「水郷祭」。この祭りは、実行委員会の方をはじめ、多くの町民の皆さんの企画・参画により開催され、今年も 7 月 19、20 の両日、全国最初の国民宿舎「水明荘」の隣地、「東郷湖畔公園」で催されました。

初日は「綱引き大会」で、猛暑の中、各集落から 30 チームが参加、小学生・女性・男性の 3 区分で試合をしました。地元の方々の応援を受け、和気あいあいの大会でしたが、3 本勝負になる試合も多く、準決勝や決勝は、チームのプライドをかけた名勝負となり、大きな掛け声や歓声に包まれ、盛り上がりました。

また、2 日目は、中学生によるブラスバンド部の演奏、昇龍隊の龍踊りに始まり、「神輿渡御」、1500 個の「灯ろう流し」、500 年近く踊り継がれる「浪人踊り」と続き、最後に花火大会が行われました。

水郷祭の花火は、湖上の三つの台船から打ち上げられ、美しい彩りの花火が基調。古く



淀江町盆踊り花火大会



貝がら節祭り。夜空に鳴り響く和太鼓響きと掛け声



浪人踊り（鳥取県無形民俗文化財）
毛利軍に敗れた南条軍の浪士が亡き友を偲び踊ったのが始まりで、顔が見えないように踊る



浴衣姿の踊り子が会場を踊りながら練り歩く倉吉みつぼし踊り大会
美術館のライトアップと伝統のみつぼし踊りが幻想的に交差する

会長 杉原 宗人

八頭高校は、大正15（1926）年に八頭高等女学校として設立。昭和23（48）年に男女共学の八頭高校が発足。当初は智頭農林高校と統合した時がありました。昭和28（53）年に分離し現在の体制になりました。1学年10クラス以上の県内有数のマンモス高校として永年推移。令和になり少

1学年500名近い卒業生を毎年輩出し、同窓生は県内外で活躍しています。同窓会員が結束し、母校の魅力ある高校づくりや人材育成への支援、更に会員相互の交流、親睦を深め、「ふるさと創生」に協力し貢献していくことを皆で確認しました。



すが鳥取県発展のため全力を尽くし、また皆様のご期待に添えるよう努力する所存ですのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

休日にはゆつくりですが、皇居ランニングにデビューいたしました。都心で朝日を浴びることは感慨深いものがあります。今後とも職員一同精進してまいりますので

成長を求める学生たちの思いは変わることはないでしょう。寮生一人ひとりが、多くの方々に支えられていることを忘れず、“この”を大切に有意義な学生生活を送り、それぞれの夢や理想に向かって着実に歩んで行くことを願っています。